



「あほちゃうビジネスグランプリ」 共創に向け各グループが議論開始

大阪商工会議所は8月24日、万博リベンジャークリエイティブ・インテリジェンス事業「あほちゃうビジネス」第3回「あほちゃうビジネス」第3回

「あほちゃうビジネス」第3回は、大阪商工会議所が主催する「あほちゃうビジネス」の第3回。本会では、各グループが議論を開始し、共創に向けた取り組みを進めている。本会では、各グループが議論を開始し、共創に向けた取り組みを進めている。本会では、各グループが議論を開始し、共創に向けた取り組みを進めている。

本会では、各グループが議論を開始し、共創に向けた取り組みを進めている。本会では、各グループが議論を開始し、共創に向けた取り組みを進めている。本会では、各グループが議論を開始し、共創に向けた取り組みを進めている。

ウエルネス分野 海外バイヤーと商談へ

大阪商工会議所は大阪、要件などの詳細は本

大阪商工会議所は大阪、要件などの詳細は本

在大阪・神戸ドイツ総領事 廣瀬副会頭を表敬訪問



大阪商工会議所は大阪、要件などの詳細は本

大阪商工会議所は大阪、要件などの詳細は本

アフリカ・ビジネス 最前線

<2>



外務省 政府代表・
特命全權大使(関西担当)
三澤 康氏

アフリカ市場における日本企業の成功の鍵は、た大規模な天然ガス、複合火力発電所建設は、①既存の枠組みに捉われ、②現地の社会課題そのものをビジネス機会と捉える発想、③現地市場への徹底した適応にあると思

勝機を掴む「現地適応」と「信頼」の戦略

アフリカ市場における日本企業の成功の鍵は、た大規模な天然ガス、複合火力発電所建設は、①既存の枠組みに捉われ、②現地の社会課題そのものをビジネス機会と捉える発想、③現地市場への徹底した適応にあると思

女性起業家との対話と交流 第3回は10月3日



アンナ・クレシェンコ氏

大阪商工会議所は、起業家同士のコミュニティ形成や事業のスケールアップを支援する事業を実施している。今年度は、ロールモデルとなる女性起業家を招いて、タイアローク&交流会を年4回開催。

大阪商工会議所は、起業家同士のコミュニティ形成や事業のスケールアップを支援する事業を実施している。今年度は、ロールモデルとなる女性起業家を招いて、タイアローク&交流会を年4回開催。



代表兼デザイナー
隅田あすかさん

大阪商工会議所は、起業家同士のコミュニティ形成や事業のスケールアップを支援する事業を実施している。今年度は、ロールモデルとなる女性起業家を招いて、タイアローク&交流会を年4回開催。

大商ビジネススクール

10、11月開催の講座・研修

大阪商工会議所は、「人事担当者のための『今の時代の人材育成体系の作り方』基礎研修<全2回>」を開催する。人事担当者、総務担当者、教育担当者を対象に、基本的な人材育成の考え方、研修の組み方、OJTとの連動のさせ方など、働きやすい職場づくりを進めるために必要な知識・マインドを習得する。1日目終了後は、講師を交えた懇親会も実施(任意参加)。講師は、ロボライズの武田由利子チーフコンサルタント。10月29日、11月5日(全2回)、両日とも午後1〜5時。

研修・採用支援担当 ☎6944・6421 kensyu2@osaka.cci.or.jp 場所は原則、大商で。

異業種との共創で新たな価値創造に挑む

滋賀県発のスタートアップであるベホルとの協業による「酸化炭素(CO₂)吸収材を組み込んだ、世界初のCO₂を吸つプレスレット」の開発など異業種との共創に積極的に挑戦し、社会課題の解決と新たな価値創造を目指しています。 「コロナ禍は、事業を見つめ直す大きな転機でした。経営には技術だけでなく、人とのつながりや柔軟な発想が重要だと学びました。創業を目指す方には、まず一歩を踏み出してほしい。挑戦の途中で得る出会いや学びが、新たな可能性を広げてくれます」と隅田代表は語ります。

中堅社員・リーダーのための「基礎力」の強化・管理能力養成! 管理職になるまでに身につけるべき心構えと3つの能力強化講座 大阪商工会議所は、「管理職になるまでに身につけるべき心構えと3つの能力強化講座」を開催する。リーダーや管理職に必要な能力アップのため、リーダーとしての心構え・意識付けを学ぶとともに、部下との関係・コミュニケーション力、人を動かすための説得力ある発言・話し方、職場での改善力・問題解決力の習得を目指す。講師は、EM Iコンサルティングの福井充雄代表。11月4日午前10時〜午後5時。

大商の事業を利用して活躍する女性起業家の声を紹介する。 Lazulith C.O.吸収材を組み込んだ世界初のプレスレットなど

部下の成果がチームを変える! 生産性を高めるコーチング速習講座 ~半日で学ぶ「成果を引き出す関わり方」の技術 大阪商工会議所は、「部下の成果がチームを変える! 生産性を高めるコーチング速習講座」を開く。相手に問いかけ、傾聴し、承認しながら、課題や目標への自発的な気づきを促す「コーチング」。相手との相互理解を深めるコミュニケーション技法を学ぶ。管理職や現場リーダーの業務に活用できる。 11月10日13:00〜17:00 講師 コーチングオフィスAUBE PROJECTの黒田晴美代表

組織の中でキャリアの方向性が見える! 明日から前向きに仕事に取り組める! 若手・中堅社員のためのライフ&キャリアデザイン研修 大阪商工会議所は、「若手・中堅社員のためのライフ&キャリアデザイン研修」を開催する。キャリア心理学とNLPコーチングをベースに、納得のライフ&キャリアの選択をサポートする。自己理解を深め、自分の強みややりたい姿を確認しながら、キャリアについて自律的に考えられるようになる。講師は、オフィスムープの濱田美雪代表取締役。11月5日午前10時〜午後5時。

若手・中堅社員に必須の「仕事力」養成講座 ~ビジネスに不可欠な5大スキルを徹底的にマスター どの世界でも基本をおろそかにして一流になることはあり得ない。これからの会社を背負って立つ入社10年目ごろまでの若手・中

インドに経済・現地人材視察団 11月 製造拠点や大学を訪問

大阪商工会議所は11月15〜21日、日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部とともに、インドの最新ビジネス環境や人材活用可能性を探る「インド・製造拠点や大学を訪問」の視察団を派遣する。共同団長は森島光・大商国際ビジネス委員長(丸紅執行役員、大阪支社長)、二宮康史・ジェトロ大阪本部長。

インドは、2025年度国内総生産(GDP)背景に、ITなど理工系を主とした優秀な人材を輩出する「人材大国」としても高く評価されている。デリーやチェンナイの郊外に立地する工業団地・企業の意向交換や現地

地ビジネス展開に重要な日本語人材との交流などあわせて組み込む。

とて、インドの製造拠点としての競争力や市場・人材の最新動向と、生の情報に直接触れる機会を提供する。

【問合せ】国際部 ☎ 944・6400

インド販路開拓勉強会 食分野ビジネス展開の動向

大阪商工会議所は9月28日、インド販路開拓勉強会(第3回)を開く。内需が旺盛なインド市場は、上位中間層・富裕

者層の増加や所得水準の向上を背景に、さらなる拡大が期待される一方、消費者ビジネスの成功に

【問合せ】国際部 ☎ 944・6400

80超の万博レガシー展示 ステージやグルメも用意 大商「新事業共創ファーム」PR



●オープニングセレモニーで記念撮影に臨む千田一弘(左から3人目)、近藤博宣(同2人目) ●会場は多くの来場者でにぎわった。会場は8月21日、大阪市住之江区

万博レガシーイベントが8月21日、ATCホール(大阪市住之江区)で開かれた。このイベントは、大阪商工会議所が主催し、大商国際ビジネス

「万博で生まれた感動を、過去の思い出で終わらせないために」をテーマに、千田一弘社長と近藤博宣大商専務理事が、会場を巡り、来場者と交流する。会場には、80を超える万博レガシー展示や、ステージイベント、グルメなどが用意された。

【問合せ】国際部 ☎ 944・6400

法律の基礎知識学ぶ場 企業法実務基礎講座

大阪商工会議所は、企業法の基礎知識を学ぶ「企業法実務基礎講座」を開催する。参加者同士の交流も実施。

【問合せ】地域振興部 ☎ 6944・6323

【問合せ】企画広報部 ☎ 6944・6304

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300



体験プログラムの実施で、あべの天王寺にぎわう。大阪商工会議所南支部(支部長・秋田拓士・近鉄百貨店会長)は8月22〜23日、あべの天王寺・サマーキャンパス2026を開催した(一部8月14日から実施)。

【問合せ】国際部 ☎ 944・6400

三菱電機と住友理工 先端技術シーズを発表

大阪商工会議所は10月1日、「MOT・OSS」の共同発表会を開催する。この発表会は、三菱電機と住友理工が、先端技術のシーズを発表する。発表内容は、AI・IoT・ロボティクスなど、未来社会を支える技術に関するもの。発表後、両社は、共同で技術開発を進める意向を示した。

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

業務自動化とミス削減へ



大阪商工会議所 経営相談室 専門相談員 鈴木 克彦 氏
一般社団法人ITCサポーターズ代表理事
デザインエックス代表
ITコーディネーター

ある事業者は、ユーザーの、読み間違いが起きやすく、手書きデータがメール添付や郵送、画像など多彩な形で送られてきていた。その内容が正確でないまま、顧客対応にも影響を及ぼすことがあったという。

この事例は、多くの事業者の課題にも通じるかもしれない。大半の企業は業務に必要なことを自動化している。しかし、生成AIを活用することで、各プロセスの自動化を進め、業務効率化を図ることが可能になる。自社には関係ないと思っていた課題が、生成AIによって驚くほど手軽に解決できる時代になっている。今回は集客への活用事例を紹介する。

大阪商工会議所のIT専門相談員が、中小企業の現場でのAI活用について連載します。

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

大阪商工会議所のIT専門相談員が、中小企業の現場でのAI活用について連載します。

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

大阪商工会議所のIT専門相談員が、中小企業の現場でのAI活用について連載します。

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300



<2>

AIの業務効率化事例

大阪商工会議所のIT専門相談員が、中小企業の現場でのAI活用について連載します。

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300

【問合せ】産業・技術振興担当 ☎ 6944・6300